

CASBEE-広島 2014年版 ライオンズ広島グランテラス			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル： CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト： CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境						0.40		-	3.7
1 音環境					3.0	0.15	3.8	1.00	3.7
1.1 騒音			騒音レベル調査		3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.7	0.50	
1			開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2			界壁遮音性能		3.0	-	4.0	0.30	
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20	
4			界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音					3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境					2.8	0.35	5.0	1.00	4.6
2.1 室温制御					3.5	0.50	5.0	1.00	
1			室温		5.0	0.63	-	-	
2			外皮性能		1.0	0.38	5.0	1.00	
3			ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			大空間には「エアースイングファン」を設置し、温度差を無くしている。		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.7	0.25	2.7	1.00	2.7
3.1 昼光利用					3.0	0.30	2.4	0.50	
1			昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2			方位別開口		-	-	1.0	0.30	
3			昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	3.0	0.50	
1			昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	
1			化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
2			アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気					3.0	0.40	3.3	0.38	
1			換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2			自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33	
3			取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1			CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2			喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.7
1 機能性					4.0	0.40	4.4	1.00	4.3
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1			広さ・収納性		-	-	-	-	
2			高度情報通信設備対応		3.0	-	5.0	1.00	
3			バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	3.5	0.40	
1			広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2			リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3			内装計画		5.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理					4.5	0.30	-	-	
1			維持管理に配慮した設計		4.0	0.50	-	-	
2			維持管理用機能の確保		5.0	0.50	-	-	
3			衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1			耐震性		3.0	0.80	-	-	
2			免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					4.3	0.30	-	-	
1			躯体材料の耐用年数		5.0	0.20	-	-	
2			外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.20	-	-	
3			主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4			空調換気ダクトの更新必要間隔		4.0	0.10	-	-	
5			空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6			主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	非常用発電機設備を地上階に設置	2.6	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
	3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.3	1.00		3.2
3.1 空間のゆとり	階高2,910mm			-	-	3.6	0.50		
				1 階高のゆとり	3.0	-	4.0		0.60
2	空間の形状・自由さ	3.0	-	3.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50			
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-			
1	空調配管の更新性	住宅性能表示基準「4-2維持管理対策等級(共用配管)」等級2	3.0	0.20	-	-			
2	給排水管の更新性		4.0	0.20	-	-			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4		
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0		
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7		
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9		
1 建物外皮の熱負荷抑制			住宅性能評価「5-1断熱等性能等級4」確保		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.78	4.1	0.50	-	-	4.1	
集合住宅以外の評価(3a.3b)				1.0	-	-	-		
集合住宅の評価(3c)			住宅性能評価「5-2断熱等性能等級5」確保		4.1	1.00	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				-	-	-	-		
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-		
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-		
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1	節水		節湯水栓を使用	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	-	3.2	
2.1	材料使用量の削減		高炉セメント ー 躯体+軽鉄+仕上材及び躯体+クロス仕上とし分別を比較的容易にして	2.0	0.10	-	-		
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-		
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			接着剤、シーリング等シックハウス対策品を使用	5.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-		
1	消火剤			-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-		
3	冷媒			3.0	1.00	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7		
1 地球温暖化への配慮			オール電化住宅としている	4.5	0.33	-	-	4.5	
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5	
2.1	大気汚染防止		燃焼器具使用していない	5.0	0.25	-	-		
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		雨水流出量の抑制をおこなっている	4.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制		駐車場の出入口の分散化により渋滞の緩和	4.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1	騒音			3.0	1.00	-	-		
2	振動			-	-	-	-		
3	悪臭			-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-		
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-		
3.3	光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドライン11項目、広告物照明8項目確保	5.0	0.70	-	-		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		